

# 東川町プレーパークリノベーション

上木翔太/加野和奏/佐々木嵩/寺嶋啓介  
小篠隆生/山脇克彦



## 1. 東川町の概要

### ■ 東川町の地理的基礎情報



- 北海道中央部、旭川市から自動車です約20分に位置、人口約8500人
- 大雪山旭岳、美しい田園風景、天然の地下水等、**豊かな自然に恵まれている**

## 2. プロジェクトの背景

### ■ 学社連携推進協議会の存在

分野の異なる様々な町内の主体で構成

#### 2014.学社連携推進協議会設立

町内学校長

農業組合

観光協会

...

- 学社連携推進協議会設立による、**地域と教育の密接な関係性**の構築

### ■ 連鎖的な公共施設再編と当研究室の役割

#### 東川小学校の建替えによる施設機能の複合化



公共施設の連鎖的再編

当研究室による継続的な計画検討業務

#### 旧校舎の改修+増築による新たな都市機能の創出



- まちの中に、**子どもたちが過ごせる豊かな空間が着実に増加**

### 3. アクティビティゾーニング

#### ■ 本PJにおける命題

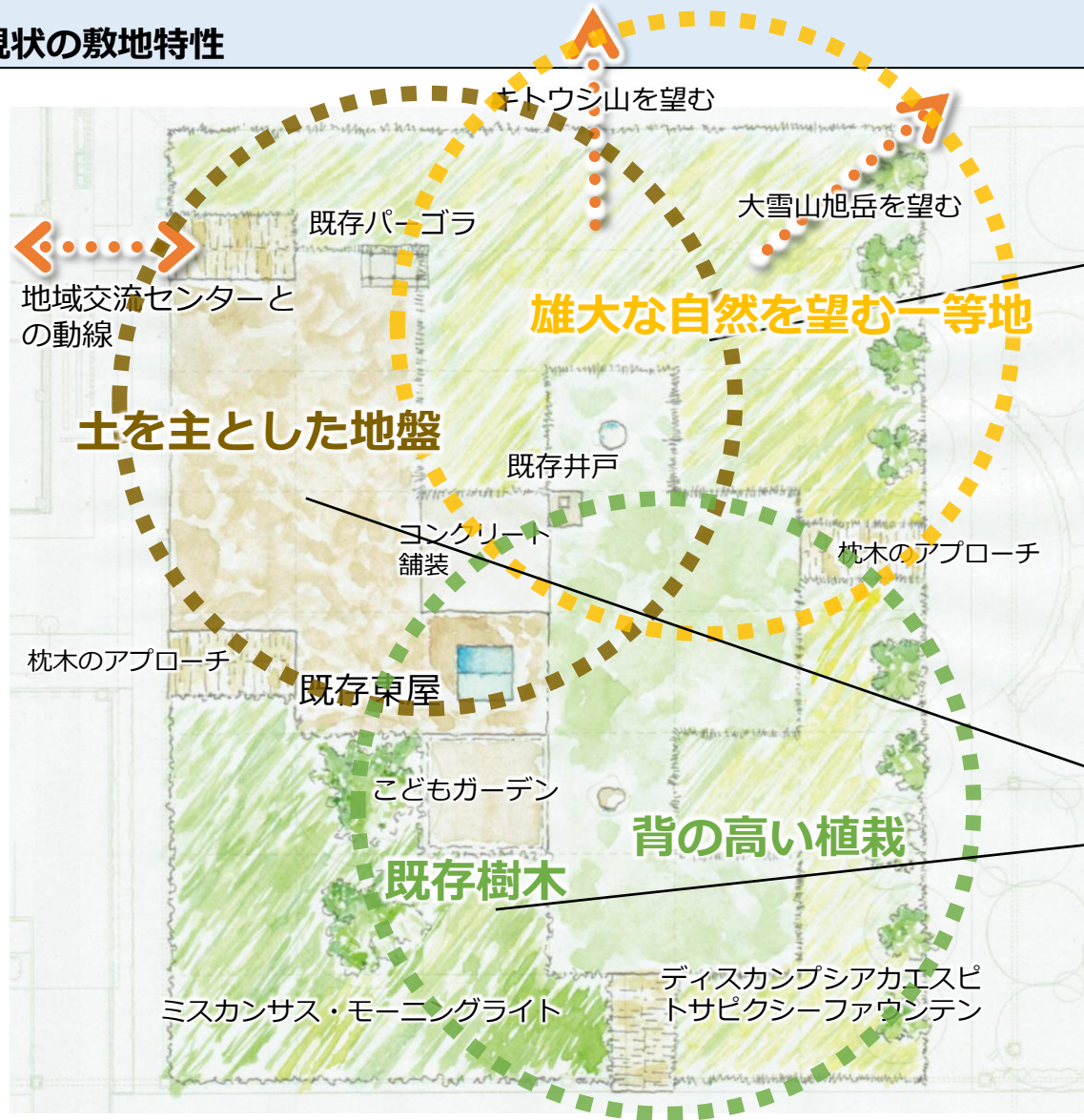
東川町の豊かな自然を背景に、あらゆる子どもたちにとっての新しい拠点を作る

## アクティビティゾーニングの提案

### 子どもの成長に必要な身体の動き



### 現状の敷地特性



- 大雪山やキトウシ山といった雄大な自然をを望みながら、子どもたちが道具を使って創造的な活動を行えるような**工作あそびゾーン**に



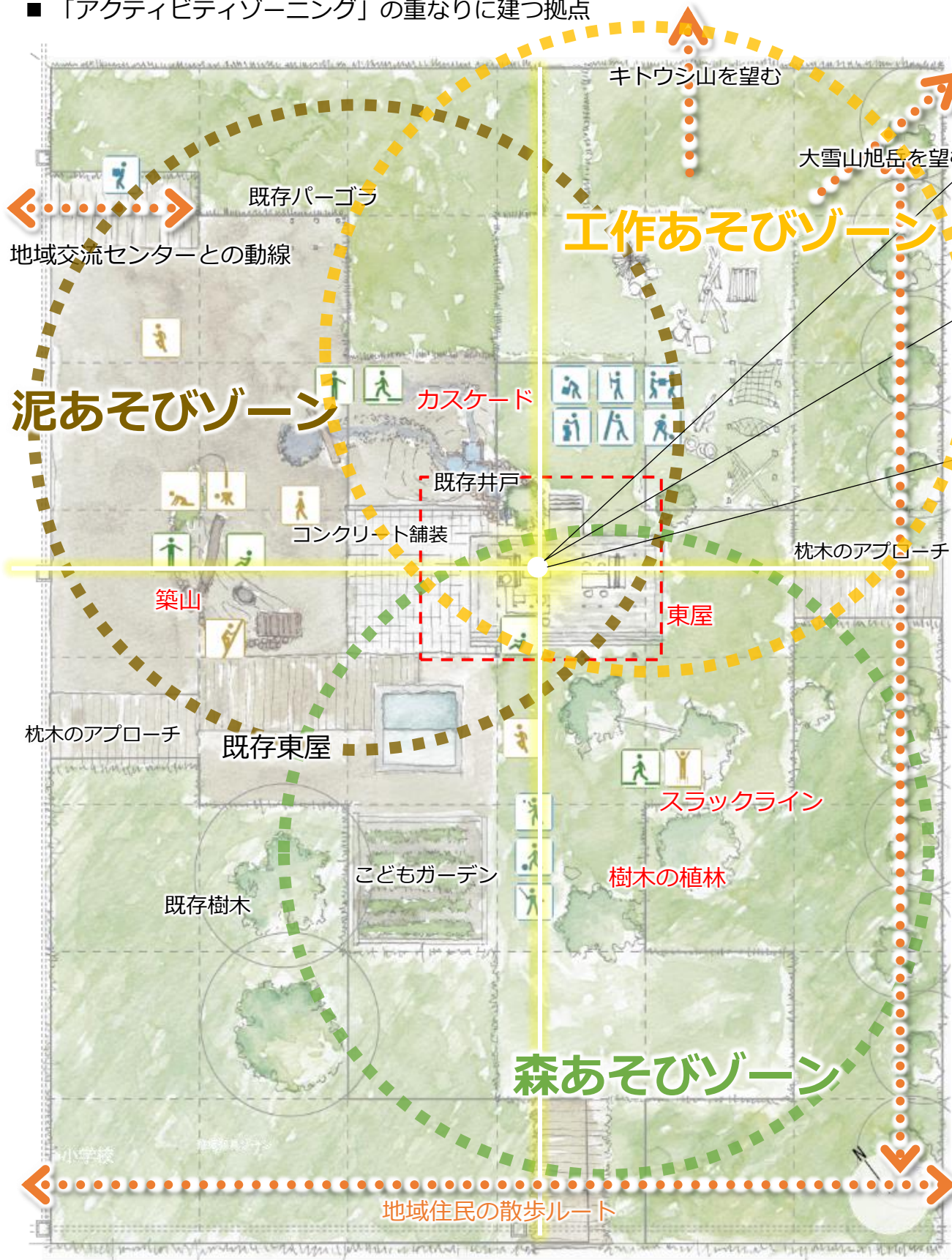
- 既存井戸を活用してカスケードを新設。築山で起伏を生み出し全身を使ってはしゃぎまわれる**泥あそびゾーン**に



- 夏の時期は子どもの背丈まで成長する既存の植栽を残し、樹木を増やし森の中を冒険するような**森あそびゾーン**に

#### 4. 小さな拠点と多くの居場所

##### ■ 「アクティビティゾーニング」の重なりに建つ拠点



##### 【憩い拠点】

普段から地域住民が訪れる機会が多く、子どもたちだけでなく**地域住民の憩いの場**としての利用を促す空間を提供

##### 【遊び拠点】

泥あそび、工作あそび、森あそびの各エリアに子どもたちが**冒険に出かける基地**として、**冒険から帰還する家**としての役割

##### 【見守り拠点】

子どもたちをも守るプレーリーダーを敷地中央に配置し、敷地いっぱい遊ぶ**子どもたちの安全を見守る**役割



検討時の空間イメージ

#### 4. 小さな拠点と多くの居場所

##### ■ 小さな拠点の空間構成

美しい風景を主役とするシンプルさと地域の人々を受け入れる包容力の共存

ポリカーボネート屋根による屋根下空間の明るさの確保、積雪への強度、耐候性、熱線透過の防止

子どもたちの絵が描かれた防火壁

シンプルな柱梁構成による  
抜け感の創出

体験農園で収穫した  
米を炊ける薪釜戸

ブレースの代わりに水平力を受け持つ三段重ね梁を設け、上部にはベンチを設置

居場所を増やすためのウッドデッキ



5. 「土地らしさ」を叶える建築を目指して



美しい大雪山旭岳

子どもたちの作品が描かれた壁面

あらゆる住民を受け入れる小さな居場所

水遊びができる既存井戸を活用したカスケード

体験農園で収穫した米を炊ける釜戸

様々な遊び方が生まれる築山

様々な活動を支える既存コンクリート舗装

秘密基地のような土管



竣工式にて壁に色塗り



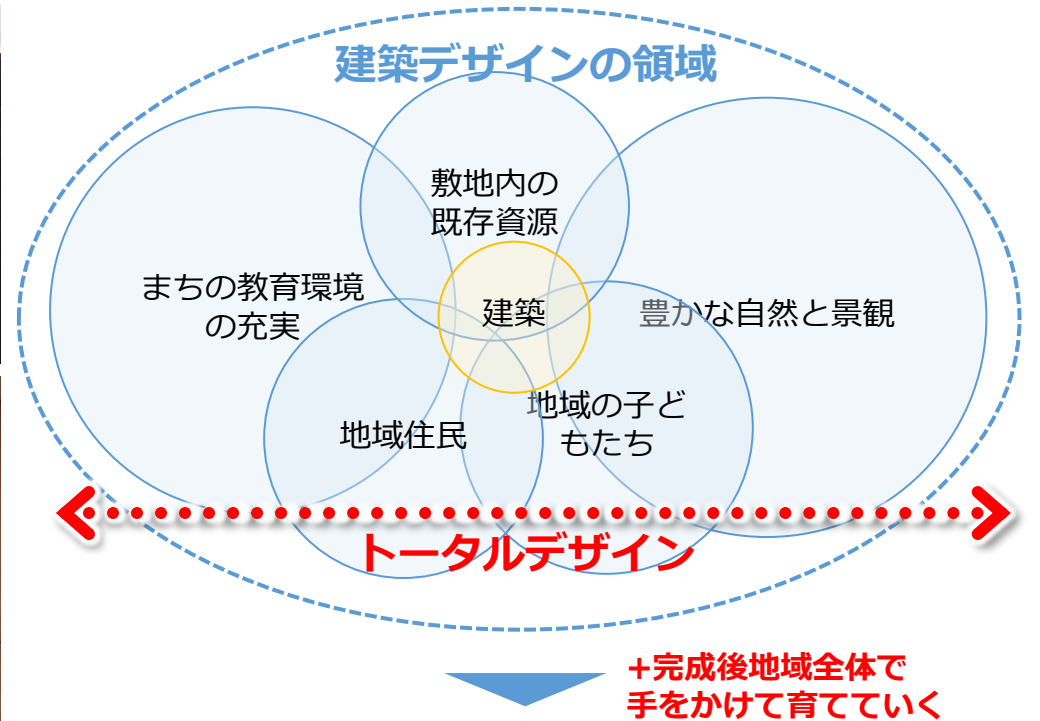
お気に入りの土管遊び



敷地をいっぱい使って鬼ごっこ



みんなの居場所となる新たな拠点



**郷土愛を育む場として建築が  
その土地に根付いていく**